

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人

静岡市しみず社会福祉事業団

目 次

I	事務局	1
II	静岡市清水みなとふれあいセンター〔身体障害者福祉センターB型〕	8
III	静岡市清水ひびきワーク〔生活介護事業所〕	11
IV	静岡市清水うみのこセンター〔母子療育訓練センター〕	15
V	静岡市清水うしおワーク〔多機能型事業所〕	
1	生活介護事業	17
2	就労継続支援B型事業	21
VI	静岡市清水うなばら学園〔生活介護事業所〕	25
VII	静岡市清水なぎさホーム〔生活介護事業所〕	29
VIII	障害者相談支援センターわだつみ〔相談支援事業〕	33

I 事務局

障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として常に利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術の提供と障害福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

1 評議員会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
定時	6月24日	会議室	評議員5人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度事業報告及び各種会計決算認定 ○役員報酬等の規程改正 ○社会福祉充実計画の承認 ○報告事項
2	3月23日	会議室	評議員6人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度各種会計収支補正予算（案） ○令和5年度事業計画（案） ○令和5年度各種会計収支予算（案） ○役員等の報酬及び旅費に関する規程の一部改正 ○役員を選任 ○報告事項

2 理事会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
1	6月8日	会議室	理事6人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度事業報告及び各種会計決算の認定 ○定時評議員会の招集 ○役員賠償責任保険契約締結 ○諸規程の一部改正 ○第三者委員の選任 ○社会福祉充実計画の承認 ○報告事項
2	3月15日	会議室	理事6人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度各種会計収支補正予算（案） ○事業運営資金積立金の目的外取崩の件 ○第2回評議員会招集 ○令和5年度事業計画（案） ○令和5年度各種会計収支予算（案） ○諸規程の一部改正 ○役員賠償責任保険契約締結の件 ○役員の補欠候補者の選定 ○評議員選任・解任委員会委員の選任 ○施設長の任命 ○報告事項

3 監査等

区分	実施日	実施者	内 容
会計帳簿監査	5月25日	杉山明喜雄 公認会計士他3人	令和4年度決算に伴う経理監査
決算監査	5月31日	事業団監事2人	令和3年度決算書類及び付属関係書類、 関係諸帳簿との照合、係数検査等
定期監査	12月15日	事業団監事2人	令和4年度前期分各種計算書類等の 確認、業務状況報告

※いずれも、適正、かつ正確に行われているとの報告を受けた。

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

令和4年6月1日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員2人に報告した。
なお、個々の苦情解決並びに直接、第三者委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況(令和4年度末)

適正な職員配置を行い、業務に万全を期した。(単位：人)

事業別	施設名	常勤	非常勤 (嘱託医等含む)	兼務	合計
本部	事務局	5		(2)	5
身体障害者福祉 センターB型	静岡市清水みなど ふれあいセンター	4		(1)	4
生活介護事業所	静岡市清水 ひびきワーク	4	2	1	7
母子療育訓練 センター	静岡市清水 うみのこセンター	6	5		11
多機能型事業所	静岡市清水 うしおワーク	11	4	1	16
生活介護事業所	静岡市清水 うなばら学園	17	2		19
生活介護事業所	静岡市清水 なぎさホーム	9	5	(3)	14
相談支援事業	障害者相談支援 センターわだつみ	7		(1)	7
合 計		63	18	2(7)	83

6 事務局職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
事務局長	1		(1)	1	わだつみ管理者兼務
事務局次長	1		(1)	1	みなとふれあいセンター施設長兼務
事務員	3			3	
計	5	0	(2)	5	

7 職員研修等

職員の資質の向上、専門的知識、技能の習得を図るため、関係機関が開催する実務研修や各種研修会に積極的に参加した他、事業団職員研修計画に基づいて内部研修、階層別研修等を実施した。

ア 階層別研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
4月7日 4月8日	新規採用職員研修	令和4年度 新規採用職員	6人	組織についての基礎知識 利用者の処遇等について
4月8日	交通安全研修	令和4年度 新規採用職員	6人	公用車の使用について 教材(DVD)
4月8日	保健衛生研修	令和4年度 新規採用職員	6人	障害者施設の健康管理 感染症対策等
4月14日	OJT指導者 養成研修	次期OJT 指導予定者	8人	新規採用職員が育つ現場の 仕組みを学ぶ
5月12日	准職員研修	准職員	6人	准職員に期待される役割 職責に応じた業務分担
6月9日 6月10日	新規採用職員研修Ⅱ	令和4年度 新規採用職員	6人	利用者の処遇等について
9月9日	新規採用職員研修Ⅲ	令和4年度 新規採用職員	6人	関係機関との連携について 静岡市の福祉制度について
9月26日 9月30日	上級職員研修	採用後 8～10年職員	3人	中堅職員の立場や役割 リーダーシップの開発
10月1日	新規採用職員 採用後6か月研修	令和4年度 新規採用職員	2人	採用後6か月経過し、社会人 としての意識向上の振返り
毎月1回	防災研修Ⅱ	主任者	4人	防災備品（発電機）を実際に 使用する

イ 全体研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
5月13日 7月15日	ハラスメント研修	全職員	30人	ハラスメント防止における基礎知識について学ぶ
9月29日	虐待防止研修	全職員	70人	虐待防止に向けた取り組みを学ぶ
10月1日～	情報セキュリティ対策研修	全職員	65人	情報セキュリティの基本を学ぶ
11月11日	防災研修	全職員	50人	大規模災害時における電気の取り扱い方について学ぶ
12月9日	AED講習会	全職員 (3年で全職員)	23人	AEDの使用方法を学ぶ
1月13日	事例研究発表	全職員	50人	うみのこセンターにおける実践事例報告
2月27日	クラウド導入に伴う説明会	正規職員	40人	クラウドの基本操作

ウ 専門研修（外部研修）

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
5月12日	防火管理者研修	サービス管理責任者	1人	防火管理の意義及び制度について
5月20日	接遇マナー研修	直近5年採用職員	12人	基本的な電話対応や接客術を学ぶ
5月25日	安全運転管理者総会	施設長 (安管)	1人	安全運転管理者総会
6月2日	不当要求防止責任者講習会	施設長	1人	不当要求行為等について
6月20日	簿記入門講座	事務局主事	1人	社会福祉法人会計の複式簿記に関する基礎的知識を学ぶ
7月14日	事務職員経理基礎講座	事務局主事	1人	社会福祉法人の会計処理に関する基礎的知識を学ぶ
7月21日	安全運転管理者研修	施設長 (安管)	1人	安全運転管理者法定講習会
9月2日	インソース外部研修	准職員	1人	コミュニケーション基礎研修
9月2日	サービス管理責任者等基礎研修	主任 他	2人	サービスや支援の質の確保に必要な知識・技能を学ぶ
9月20日	サービス管理責任者等更新研修	サービス管理責任者	1人	サービスや支援の質の確保に必要な知識・技能を学ぶ
9月27日 10月25日	コンプライアンス研修	管理者等	9人	コンプライアンスが必要な背景やその本質を理解する
11月1日	インボイス制度研修	事務局主任	1人	インボイス制度について理解する
11月15日	税務実務専門講座	事務局主任	1人	消費税の適正な取り扱いにおける必要な実務を学ぶ

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
11月25日	インソース外部研修	指導員	1人	分かりやすい説明の仕方研修
11月26日	全国社会福祉事業団協議会	事務局次長	1人	全国社会福祉事業団協議会全国大会
11月28日	インソース外部研修	准職員	1人	コミュニケーション基礎研修
12月5日	安全運転管理者研修	事務局次長(副安管)	1人	安全運転管理者法定講習会
1月16日～	虐待防止・権利擁護研修(共通講義)	主幹 他	2人	障害及び障害者に対する理解を深め虐待防止の意識を醸成する
1月16日～	虐待防止・権利擁護研修(講義・演習)	相談支援専門員	1人	障害及び障害者に対する理解を深め虐待防止の意識を醸成する
2月28日	インボイス制度研修	事務局主任	1人	インボイス制度について理解する

エ 視察研修(コロナ禍により未実施)

オ OJT制度及びメンター制度の実施

制度名	内容等	対象人数
OJT	OJT研修の指導者等に対し、外部研修を受講した職員が講師となりOJT研修の進め方等の研修を実施した。 また、法人として統一したルールに基づきOJTを実施するため実施マニュアルを作成した。	12人
メンター	新規採用職員を対象にメンティ(被育成者)をマッチングし、業務だけにとどまらず、スキル形成、人間関係の構築等、併せて法人の中長期的な成長を見込み、メンターの組織人としての成長支援を実施した。 併せて、メンターリーダーを配置したうえでメンター報告会を実施し、情報交換会やメンターに対してのケアに努めた。	3人

(2) 職員の主な国家資格取得状況(※重複取得者あり)

資格名	人数
社会福祉士	9人
精神保健福祉士	2人
介護福祉士	21人
保健師・看護師	6人
公認心理師	1人
作業療法士	1人
合計	40人

8 体験実習等の受入れ

事業団内福祉施設の体験学習や実習、施設見学等、積極的に受け入れた。

受入団体名	人数
嘱託職員採用試験受験者	16 人
飯田地区民生委員児童委員協議会	29 人
求人紹介企業渉外担当者	1 人
合 計	46 人

※この他、株式会社 TOKAI によるキッチンカー(カレー提供)の慰問を受けた。

9 情報公開等

事業団各施設の概要、事業内容、収支決算等を事業団だより「つばさ」(年1回[8月]・2,500部)を発行した他、ホームページを随時更新し、最新情報を公開した。

10 防災関係

(1) 総合防災訓練

年3回(9月・11月・3月)、事業団全施設を対象に地震による火災発生を想定した初期消火訓練、避難誘導訓練、津波避難訓練、通報訓練を実施した。

(2) 宿泊型防災訓練

年2回(7月・11月)災害発生により帰宅困難となった場合を想定した宿泊型防災訓練を実施し、利用者69人が参加した。

(3) 防災備蓄品

緊急時に備え、食料・保存水(200人分・7日程度)の他、発電機(4台)、寝袋(200個)、簡易トイレ、ハロゲンライト(4基)等を備蓄している。また、静岡市の防災倉庫を敷地内に設置し、浄水機や受水槽等の資機材を保管している。

11 地域における公益的な取組み

内 容	回数
わいわい広場(11月、12月、3月)	5回
地域の3公園の清掃活動	12回
近隣道路及びガードレール清掃	20回
地域のカーブミラー清掃	4回
近隣宅地横市有地の清掃	3回

12 その他

- (1) 新型コロナウイルスに感染対策を協議するため、感染対策委員会を開催した。
- (2) 令和4年度から新たに整備した虐待等防止対応規程等の職員周知のための取組（職員意識調査、ポスター・リーフレットの作成）を虐待防止委員会が中心となり実施した。
- (3) 令和3年度から令和7年度までの第2期経営計画に従って、法人として利用者サービスの充実、安定した経営基盤の確立、人材育成、地域福祉の向上に取り組んだ。また、経営会議を実施し、今後の事業運営について協議を行った。
- (4) 令和4年度に策定した社会福祉充実計画に基づき、下記のとおり事業を実施した。

事業名	事業概要
職員研修	管理職コンプライアンス研修
職員の福利厚生充実	新制服の貸与
公認会計士意見聴取	社会福祉充実計画策定に係る意見聴取

II 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センターB型）

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行った他、障害者団体が実施する事業の運営協力、広報紙等の啓発活動、地域福祉活動、静岡市委託事業の開催、施設提供等各種事業を実施した。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
施設長	1		1	1	事務局次長兼務
指導員	3			3	
計	4	0	1	4	

2 事業の実施状況

(1) 教室の開催

ア 機能訓練

書道・ペン習字・陶芸等 10 教室実施

イ 体力増進

卓球・ボッチャ・水中運動・グラウンドゴルフ・エンジョイスポーツ等の 15 教室実施

月	機能訓練		体力増進	
	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数
4	6	36	14	126
5	5	35	12	113
6	8	55	16	163
7	6	35	11	114
8	9	59	11	109
9	5	31	13	119
10	6	45	15	160
11	6	38	13	132
12	7	43	13	137
1	7	48	11	111
2	7	44	13	131
3	9	66	11	102
計	81	535	153	1,517

(1) 障害者福祉団体等への事業運営協力

ア グラウンドゴルフ大会の運営協力（10月、3月）

イ 静岡スポーツふれあいフェスティバル協力（11月）

ウ 静岡市身体障害者スポーツ大会の運営（11月）

エ オレンジ杯ふれあいグランドゴルフ大会協力（11月）

※年間計画で予定していた4事業（障害者スポーツフェスティバル、清水身体障害者協会研修旅行、福祉のまつり、清水区福祉総合文化祭）は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

(3) 啓発活動

ア みなとだより（広報紙）の発行（定期発行12回）

イ 事業団広報誌「つばさ」の発行（1回）

(2) 地域福祉活動

ア 駒越地区企画委員会への参画（3回。他月中止）

イ 駒越まつり協力（10月）

ウ S型デイサービス事業協力（1回。5回中止）

エ わいわい広場の運営（5回。19回中止）

※年間計画で予定していた5事業（小学生福祉学級、地区レクリエーション大会（2回）、駒越地区敬老の集い、駒越地区社協研修会）は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

(5) 静岡市委託事業

ア 手話奉仕員養成講座

区 分		開催月	実施回数	会 場	参加人数	参加延人数
清水区	昼の部	6月～1月	28回	中央福祉センター	19人	313人
葵区 駿河区	夜の部	6月～1月	28回	はーとぴあ清水	32人	694人
合 計			56回		51人	1,007人

※昼・夜の部とも、新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年度に前期分を開催し、令和4年度に後期分を開催した。その際、前期分の復習を3回追加して実施した。

(6) 会議室、運動広場等の施設利用(外部)

区 分	件数
会議室	4件
運動広場	45
多目的ホール	6
計	55

(7) 新型コロナウイルス感染症による事業中止の際の代替事業

ア 代替活動の実施

清水区福祉総合文化祭中止に伴う、みなとふれあいセンター独自での、文化作品展の企画・運営（11月）

単発事業の実実施計画

イ 施設、備品の点検及び補修

備品車椅子点検・整備他

ウ 新型コロナウイルス感染症対策

三密を避けた活動内容、実施方法（グループ編成）の検討
送迎車の定員及び送迎ルートの見直し

Ⅲ 静岡市清水ひびきワーク（生活介護事業所：定員 20 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動及び生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動は、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には、バスや小型車で（静岡市清水うしおワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）送迎を行うとともに、バス停までの移動が困難な利用者が増えていることから個別送迎の試行を実施した。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 257 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	2	1		3	
看護師		1	1	1	なぎさホーム兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	4	3	1	7	

2 利用者の状況（令和 4 年度末利用契約人員：14 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	0	0	4	4	1	9	51.8 歳	65 歳	45 歳
女	0	0	3	1	1	5	51.6 歳	69 歳	40 歳
計	0	1	7	5	2	14	51.7 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	1	1	0	2	5	9	21.3 年
女	0	0	1	0	4	5	25.8 年
計	1	1	1	2	9	14	23.5 年

(3) 身体障害者手帳所持者 (単位：人)

等級 性別	1	2	3	4	5	6	計
男	5	2	1	0	1	0	9
女	3	1	1	0	0	0	5
計	8	3	2	0	1	0	14

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位：人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	2	3	2	9	
女	0	0	2	0	3	0	5	
計	0	0	4	2	6	2	14	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	14人	221人
5	22	14	199
6	23	14	226
7	23	14	193
8	22	14	221
9	22	14	201
10	23	14	215
11	22	14	212
12	23	14	212
1	22	14	190
2	20	14	178
3	23	14	207
計	267	—	2,475

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折（ケーキトレー、菓子の箱折り・糊付け、ひも通し）
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み（薬品梱包用）
安藤紙業(株)	分別作業
静岡市上下水道局	使用済水道メーター表示部ガラス再利用ノベルティ製作業務

(2) 収入状況

年度別	令和4年度	令和3年度	増減
収入金額	798,802円	891,166円	△92,364円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
24,620円	240円	5,005円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数
選択活動（ボウリング、水族館見学等）	6月、7月、11月、 1月、2月、3月	13回
外出活動（バスハイク、防災センター見学）	10月、12月	2回
スポーツ巡回指導（県障害者スポーツ協会指導）	12月	1回

※ 新型コロナウイルス感染対策のため、年間計画の代替案を実施した。

※ その他、避難訓練（毎月1回）、健康診断（10月）、インフルエンザ予防接種（希望者）、結核検診を行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況

区 分	延人数
利用者見学、体験、実習	30人
ボランティア	13人
大学、専門学校生等の見学、実習、体験	6人
その他（スポーツ体験）	16人
合 計	65人

6 利用者、保護者との連絡調整

利用者及び保護者との個別面談や三者による面談会を行い、利用者へのサービスの向上に努めた。

IV 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)

発達が気になる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育て支援に努めたほか、ビデオを用いたペアレントトレーニングの定期的な開催、心理職スタッフによる発達相談などを行った。

また、保健センター主催の遊びの教室他、早期発達支援の場である「ばすてるひろば」に定期的に職員を派遣し、スムーズに療育につなげるよう努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応として事業を行う際は、検温、体調確認、手指消毒、施設内の定期的な換気、参加人数の調整を行い感染防止対策の徹底を図った。

1 職員の配置状況(単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1			1	
指導員	5			5	
公認心理師		1		1	
医師		1		1	嘱託医
臨床発達心理士		3		3	
計	6	5	0	11	

2 利用状況調べ(単位：人)

月別	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	合 計
4	167	0	5	4	211	387
5	148	0	4	16	185	353
6	171	0	4	81	139	395
7	181	0	4	38	198	421
8	108	0	4	10	229	351
9	129	0	6	4	191	330
10	171	0	8	6	198	383
11	171	0	3	16	136	326
12	184	0	4	7	143	338
1	159	0	4	4	232	399
2	168	0	5	10	200	383
3	204	0	5	3	158	370
計	1,961	0	56	199	2,220	4,436

※ 8/2～8/5は、職員が新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者となったため体制が整わず、事業を中止した。

[年度別登録者数等調]

年度別	登録者数	延利用者数
令和3年度	205人	4,760人
令和4年度	206人	4,436人

3 主要行事

行事名	実施月	回数	延参加者
特別支援学校・特別支援学級見学	6月・7月	17回	41人
母親教室（年長児）	随時	5回	87人
母親教室（その他）	随時	11回	79人
みんなでほっとする会（親同士の懇談会）	随時	6回	29人
父親参加会	2月	1回	36人
避難訓練	9月・11月・3月	3回	12人

《その他》

- (1) 臨床発達心理士による療育相談会を年26回実施した。
- (2) 清水、蒲原保健センター主催のフォローアップの会に参加（年間12回）し、課題のあるケースへのアプローチや当センターの療育につなげていくため、積極的な働きかけを行った。
- (3) コミュニケーション発達を促すビデオを上映するペアレントトレーニングを11回実施した。

4 他機関との連携

他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

内 容	回数
清水・蒲原保健センター職員派遣	12回
こども園・保育園・幼稚園・児童発達支援事業所訪問	53園
静岡市幼児言語教室との連絡会	1回
清水区こども園等との連絡会	随時
就学支援における教育委員会との連携	随時

5 新型コロナウイルス感染症による事業中止の際の代替事業

- (1) 電話相談業務の充実
 - ア 電話相談
 - イ 活動中止の連絡
- (2) 施設備品等点検及び補修

V 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延1,795人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

I 生活介護事業・定員30名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には、バスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行った。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	就労継続支援B型と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	就労継続支援B型と兼務
生活支援員	5	2		7	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	就労継続支援B型と兼務
看護師			1	1	なぎさホーム兼務
医師		1		1	嘱託医
計	9	3	1(4)	13	

2 利用者の状況(令和4年度末利用契約人員：28人)

(1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	2	3	7	8	1	21	48.0歳	63歳	20歳
女	1	0	3	2	1	7	48.3歳	68歳	21歳
計	3	3	10	10	2	28	46.4歳		

(2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	2	2	0	5	12	21	22.0年
女	1	1	0	0	5	7	23.9年
計	3	3	0	5	17	28	22.6年

(3) 療育手帳所持者 (単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	18	3	21
女	6	1	7
計	24	4	28

(4) 障害支援区分 (受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	1	10	10	0	21	
女	0	0	1	3	2	1	7	
計	0	0	2	13	12	1	28	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数 日	契約実人数 人	利用延人数 人
4	22	30	577
5	22	30	549
6	23	30	616
7	23	30	563
8	22	30	449
9	22	30	508
10	23	29	513
11	23	29	521
12	23	29	536
1	22	28	504
2	20	28	484
3	23	28	566
計	268	—	6,386

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
ベイプレス	チラシ配り
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	令和4年度	令和3年度	増減
収入金額	2,113,832 円	2,036,490 円	77,342 円

(3) 工賃支給状況(月額)

最 高	最 低	平 均
8,200 円	100 円	3,270 円

4 主要行事等 (レクリエーション活動)

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	5月、10月	2回	16人
音楽コンサート	6月、7月、12月	3回	28人
体力測定会	9月	1回	7人
運動会	11月	1回	10人
マラソン大会	10月	1回	10人
その他スポーツ (軽スポーツ、球技大会)	5月(2回)、10月、2月	4回	40人
防災体験	7月、11月	2回	15人
季節の行事	4月、12月、1月(2回)	4回	46人
その他、レク活動	4月、7月、9月、12月 1月、3月	6回	60人

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、年間計画で予定していた行事が中止となったが、代替えとして、スポーツやレクリエーションを行い、日中活動の充実を図った。

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月1回実施した。
- (2) 運動支援事業（歩行・ティーボール・ランニング）等、共通する事業は就労継続支援B型事業の利用者と一緒に行った。
- (3) 体重測定、血圧測定を毎月1回実施した。
- (4) 歯科検診（11月）、健康診断（9月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、新型コロナウイルスワクチン接種（希望者）、結核検診を実施した。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況（就労継続支援B型事業と共通）

区 分	延人数
ボランティア	99人
大学、専門学校生等の実習	56人
特別支援学校生徒、教員見学	32人
在宅または、他事業所利用者見学	3人
体験実習（入所希望者）	0人
合 計	190人

6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談等を実施し、家庭との連携を図った。

II 就労継続支援B型事業・定員 20名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者にはバスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行う他、公共交通機関を使って通所する利用者に対しては、交通ルールや利用マナーを順守するよう支援した。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
生活支援員		1		1	
職業指導員	1			1	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	生活介護事業所と兼務
目標工賃達成 指導員	1			1	
計	6	1	(4)	7	

2 利用者の状況（令和4年度末利用契約人員：20人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	1	7	5	4	18	49.9歳	73歳	20歳
女	0	0	1	0	1	2	56.0歳	71歳	41歳
計	1	1	8	5	5	20	50.6歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	5	3	2	2	6	18	15.1年
女	0	1	0	0	1	2	24.0年
計	5	4	2	2	7	20	16.0年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	8	10	18
女	0	2	2
計	8	12	20

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	無	1	2	3	4	5	6	計
男	7	0	0	5	5	1	0	18
女	1	0	0	0	1	0	0	2
計	8	0	0	5	6	1	0	20

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	19人	386人
5	22	19	360
6	23	19	401
7	23	19	379
8	22	19	334
9	22	19	365
10	23	20	409
11	23	20	399
12	23	20	391
1	22	20	383
2	20	20	376
3	23	20	432
計	268	—	4,615

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
(株)ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み
静岡市上下水道局	使用済み水道メーター分解業務

(2) 収入状況

年度別	令和4年度	令和3年度	増減
収入金額	5,663,775 円	5,338,217 円	325,558 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最 高	最 低	平 均
31,865 円	10,289 円	19,632 円

4 職場(体験)実習

他事業者からの入所希望者に対し、職場体験実習を行った。

5 就職の状況

就職者はなかった。

6 主要行事等 (レクリエーション活動)

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	5月、10月	2回	23人
音楽コンサート	6月、7月、12月	3回	28人
体力測定会	9月	1回	7人
運動会	11月	1回	10人
マラソン大会	10月	1回	10人
軽スポーツ、球技大会	5月(2回)、10月、2月	4回	40人
防災体験	7月、11月	2回	15人
季節の行事	4月、12月、1月(2回)	4回	46人
その他レク活動	4月、7月、9月、12月 1月、3月	6回	65人

※ 新型コロナウイルス感染対策のため、年間計画で予定していた行事が中止となったが、代替えとして、スポーツやレクリエーションを行い、日中活動の充実を図った。

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月1回実施した。
- (2) 運動支援事業（歩行・ティーボール・ランニング）等、共通する事業は就労継続支援B型事業の利用者と一緒に行った。
- (3) 体重測定、血圧測定を毎月1回実施した。
- (4) 歯科検診（11月）、健康診断（9月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、新型コロナウイルスワクチン接種（希望者）、結核検診を実施した。

7 体験実習及びボランティア等の受入状況（生活介護事業と共通）

区 分	延人数
ボランティア	99人
大学、専門学校生等の実習	56人
特別支援学校生徒、教員見学	32人
在宅、又は他事業所利用者見学	3人
体験実習（入所希望者）	0人
合 計	190人

8 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談等を実施し、家庭との連携を図った。

VI 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所：定員 60 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、それぞれの障害特性に配慮し充実した生活が送れるよう、生活、学習、作業支援等を実施した。

生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者にはバス及び小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うしおワーク利用者と同乗）で送迎を行った。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 320 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	12			12	
看護師兼 生活支援員	1			1	
運転士兼 生活支援員	2			2	
業務員		1		1	
医 師		1		1	嘱託医
計	17	2	0	19	

2 利用者の状況（令和 4 年度末利用契約人員：47 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均 年齢	最年長	最年少
男	12	10	12	4	0	38	37.6 歳	54 歳	22 歳
女	1	3	5	0	0	9	40.1 歳	48 歳	27 歳
計	13	13	17	4	0	47	38.1 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	2	7	8	6	15	38	18.1 年
女	0	1	1	2	5	9	22.8 年
計	2	8	9	8	20	47	19.0 年

(3) 療育手帳所持者 (単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	36	2	38
女	9	0	9
計	45	2	47

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	3	17	18	38	
女	0	0	0	0	4	5	9	
計	0	0	0	3	21	23	47	5.5

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	4人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	51人	904人
5	22	50	883
6	23	50	945
7	23	48	909
8	22	48	763
9	22	48	838
10	23	48	877
11	22	47	861
12	23	47	888
1	22	47	840
2	20	47	783
3	23	47	895
計	267	—	10,386

3 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別、油取り紙作成
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料作成
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー プランターアクセサリ等の切り出し

(2) 収入状況

年度別	令和4年度	令和3年度	増減
収入金額	638,757円	670,058円	△31,301円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
2,338円	40円	951円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
個別活動 (動物園、ハイキング、いちご狩り等)	随時	10回	40人
班活動(バスハイク等)	随時	17回	243人
クラブ活動(スポーツ・音楽)	随時	52回	1,061人
四季の活動 (映画鑑賞、夏祭り、秋祭り、節分の集い)	5月、7月、 11月、2月	4回	106人
クリスマス会	12月	1回	44人

※新型コロナウイルス感染対策のため、年間計画で予定していた外出行事が中止となったため、施設内での行事に切り替えるなどして、日中活動の充実を図った。

《その他》

- (1) 避難訓練・体重測定を毎月1回実施した。
- (2) 健康診断1回、血液検査(希望者)、インフルエンザ予防接種(希望者)、新型コロナウイルスワクチン接種(希望者)、結核検診、歯科検診をそれぞれ年1回行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況

区 分	延人数
大学、専門学校生の実習	33 人
合 計	33 人

6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載し、日々の活動の様子が伝わるよう写真を掲載した「うなばら学園だより」を毎月発行した。

各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報共有を行った。

また、個別支援計画等作成に当たっては、個別面談を実施し、家庭との連携を図った。

Ⅶ 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所：定員 20 名）

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立機能の維持や社会参加及び家庭介護の軽減を図った。

外出活動（買い物等）や他事業所との運動会等、感染対策を行いながら地域との交流機会を作った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	5	3	(1)	8	管理者兼務
看護師兼 生活支援員	2	1	(2)	3	ひびき、うしお 兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	9	5	(3)	14	

※看護師 1 名は、「静岡市清水ひびきワーク」「静岡市清水うしおワーク」を兼務。

2 利用者の状況（令和 4 年度末利用契約人員：14 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	0	4	0	5	41.4 歳	49 歳	25 歳
女	5	3	0	1	9	30.2 歳	54 歳	19 歳
計	6	3	4	1	14	34.2 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～9 年	10～14 年	15～19 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	1	2	0	0	2	5	13.1 年
女	3	3	2	1	0	9	6.9 年
計	4	5	2	1	2	14	9.2 年

(3) 身体障害者手帳所持状況（単位：人）

級 性別	1 級	2 級	無	計
男	3	1	1	5
女	8	0	1	9
計	11	1	2	14

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分（受給者証）（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	0	0	5	5	
女	0	0	0	0	0	9	9	
計	0	0	0	0	0	14	14	6.0

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	14人	227人
5	22	14	237
6	23	14	242
7	22	14	226
8	24	14	247
9	22	14	236
10	22	14	245
11	22	14	227
12	22	14	233
1	22	14	224
2	21	14	217
3	24	14	251
計	268	—	2,812

3 主な活動内容

日常の日課として、個別の課題活動、レクリエーションゲーム、足浴、外気浴等を行った。
また水曜日（月1～2回）は、多目的ホールを使用して、運動的活動を行った。

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
外出活動 (折戸潮騒公園、ペイドリーム清水、御穂神社、 船越堤公園)	5月、7月 1月、3月	4回	52人
誕生会	随時	8回	85人
クッキング	9月、2月、 3月	3回	34人
壁面制作	6月、10月、 1月、3月	4回	47人
季節行事 (夏祭り、クリスマス会、節分、ひなまつり)	随時	6回	64人
音楽療法	毎月	11回	112人
スポーツレクリエーション教室	5月、6月、 8月、1月	4回	45人
陶芸教室	12月、2月	2回	28人
他事業所(そら、ここ事業所)との交流運動会	11月	1回	12人
ライフサポート事業	随時	8回	32人
宿泊型防災訓練	7月、11月	2回	8人

※その他、避難訓練(毎月1回)、体調チェック(毎日)、体重測定(毎月1回)、健康診断、血液検査(希望者)、インフルエンザ予防接種(希望者)、新型コロナウイルスワクチン接種(希望者)、結核検診を行った。

5 送迎サービス

送迎を希望する利用者(13人)に対して、毎日、個別送迎を実施した。

6 体験実習及びボランティア等の受入状況

区分	延人数
ボランティア	8人
特別支援学校生徒等実習	5人
大学・専門学校生の実習	4人
施設見学	30人
合計	47人

7 家庭との連携について

施設の様子や行事予定を掲載した「なぎさだより」を毎月1回配布した他、「家庭連絡ノート」による家庭と施設間の連絡や個別支援計画作成時における個別面談（年2回）の実施、日々の個別送迎時を通して、家庭との連携、連絡調整を図った。

Ⅷ 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業)

I 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

静岡市の指定を受けて、利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児（者）とその家族の福祉の向上に努めた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者	1	0	(1)	1	事務局長兼務
相談支援専門員	5	0	(1)	5	
計	6	0	(2)	6	

※相談支援専門員 1名は、障害者等相談支援兼務

2 計画作成の状況（単位：件）

区 分		特定	障害児	合計	
計画		172	92	264	
継続		500	119	619	
計画・継続		21	18	39	
各 種 加 算	初回	7	13	20	
	担当者会議	13	2	15	
	モニタリング	239	48	287	
	退院・退所	0	0	0	
	居宅連携	情報提供	1		1
		訪問会議	0		0
	入院時情報連携	訪問	0	0	0
		その他	0	0	0
	保育・教育等移行	情報提供		0	0
		訪問会議		0	0
	相談機関連携		0	0	0
	地域生活拠点		13		13
	地域体制強化		0		0
集中加算		15	7	22	

II 障害者等相談支援（知的）

静岡市から委託を受け、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者	1	0	(1)	1	事務局長兼務
相談支援専門員	2	0	(1)	2	
計	3	0	(2)	3	

※相談支援専門員 1 名は、特定相談支援事業・障害児相談支援事業兼務

2 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		245 日
相談支援	実人数	560 人
	延件数	2,860 件
個別支援計画	作成件数	0 件
	作成支援件数	0 件
個別支援会議	開催回数	3 回
	参加回数	45 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	12 回開催
	区連絡調整会議	2 回開催
	市連絡調整会議	2 回参加
	市自立支援会議	1 回参加

ア 実績の詳細(相談支援実人数)

区 分	障害者	障害児	計
実人数	442 人	118 人	560 人
うち、重複障害のある 人数(重心は除く)	0 人	0 人	0 人

イ 障害種別内訳(単位：延人数)

障害別 区分	知的 障害	発達 障害	身体 障害	重症 心身障害	精神 障害	高次脳 機能障害	その他	計
障害者	424	0	0	0	18	0	0	442
障害児	109	0	0	0	9	0	0	118
計	533	0	0	0	27	0	0	560

ウ 支援方法内訳(単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話	メール	個別支 援会議	関係 機関	郵便	代行	計
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	133	89	117	649	219	44	1,462	47	26	2,786
精神障害	6	4	1	8	0	4	49	2	0	74
計	139	93	118	657	219	48	1,511	49	26	2,860

エ 年間相談延件数の支援内容別内訳 (単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,329	生活技術に関する支援	91
障害や病状に関する支援	60	就労に関する支援	28
健康・医療に関する支援	325	社会参加・余暇活動に関する支援	30
不安の解消・情緒の安定に関する支援	413	権利擁護に関する支援	141
保育・教育に関する支援	146	障害者虐待に関する支援	1
家族関係・人間関係に関する支援	115	社会資源等の情報を共有するための 支援	2
家計・経済に関する支援	179	その他委託者が必要と認める支援	0
		合 計	2,860

(2) 相談支援体制の強化に関する取組み実績

区 分	年間実績
困難事例への対応	延 176 件
地域の相談機関への助言・指導	4 回
基幹相談支援センターとの連携	1 回
合 計	181 回

2 障害児等療育支援事業

(1) 訪問による療育指導

実施内容	対 象	実施回数	参加人数
母親教室 (福祉サービス利用説明会)	年長児の保護者	4 回	43 人
合 計		4 回	43 人

(2) 外来による専門的な療育相談、指導

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
自立支援プログラム 「スポーツを体験しよう」	静岡市しみず社会福祉事業団	1 回	7 人
自立支援プログラム 「料理をしてみよう」	はーとぴあ清水	1 回	2 人
合 計		2 回	9 人

(3) 障害児の通う保育園や障害児通園事業等の職員の療育技術の指導

区分	実施月	対象児	会 場	実施回数	参加人数
第 1 回	6 月	1 名	清水やぐらこども園	1 回	8 人
第 2 回	6 月	1 名	矢部保育園	1 回	3 人
第 3 回	6 月	1 名	清水聖母保育園	1 回	4 人
合 計				3 回	15 人

※臨床発達心理士による児の観察と研修を実施した。

(4) 療育機関に対する支援

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
療育講演会 (放課後等デイサービス事業所対象)	はーとぴあ清水	1 回	38 人